

学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名称：「コロナ禍を共に生きる04 [新型コロナウイルス感染症の最前線-what is known and unknown # 3] 「新型コロナウイルス感染症の予防と治療 Up-to-date そして変異株への対応」

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：

- ・主催：公益社団法人日本薬学会、一般社団法人日本医学会連合
- ・後援：日本生命科学アカデミー

3 開催日時：令和4年2月5日（土） 13時～16時30分

4 開催場所：オンライン開催

5 開催趣旨：

2020年1月に我が国で最初の感染者の報告がされて以来、新型コロナウイルス感染症（Covid-19）は全国に拡大した。特に第5波では、それまでと比較するとはるかに多い新規感染者が報告され、重症者数も過去最多となった。この間、4回に渡る緊急事態宣言が発令されたが、累計170万人以上という多くの方が感染し、18000人以上の尊い命が失われた。ようやく新規感染者は減少傾向となり4回目の緊急事態宣言が解除され、感染状況は一旦落ち着いているが、感染の再拡大の懸念もあり第6波に備える必要がある。本フォーラムでは、Covid-19を克服するための2本柱である新型コロナワクチンと治療薬に焦点を当て、最新情報を分かりやすく解説することを目的とする。また、最近、厚生労働省が特例として薬局での販売を認可した抗原検査キットをはじめCovid-19の検査法の最新情報についても取り上げる。

6 参加人数：

講演者等：12名

その他の参加者：最大視聴数 917

7 特記事項：

・登録者1,705名のうちリアルタイムでの最大視聴者917名（約54%）、アンケート回答540名（視聴者の約59%）と本フォーラムに対する関心の高さが伺われた。

・「大変良かった」70%、「まあまあ良かった」28%と合計98%の参加者が本フォーラムの内容を好意的に評価していた。「タイムリーな開催であった」「わかりやすかった」「資料が事前公開されていて良かった」「このような企画があることをもっと一般に対して広報すべき」等の意見があった。

・オミクロン株について、科学的には“株（strain）”という名称は適切ではないということが、講演者の一人から指摘があり、今後の課題として、学術会議の関連委員会、分科会に申し送ることになった。